

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

東郷町地域公共交通会議 (東郷町)

平成 19 年 8 月 1 日設置

令和 3 年 3 月 東郷町地域公共交通計画策定
(計画期間：令和 3 年 4 月～令和 9 年 3 月)

令和 6 年 3 月 東郷町地域公共交通計画改訂

評価対象の地域公共交通確保維持事業

- ・ 地域間幹線系統確保維持国庫補助金
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
- ・ 公有民営方式車両購入費国庫補助金

【東郷町の概要】

人口：43,925人（令和7年11月30日現在）

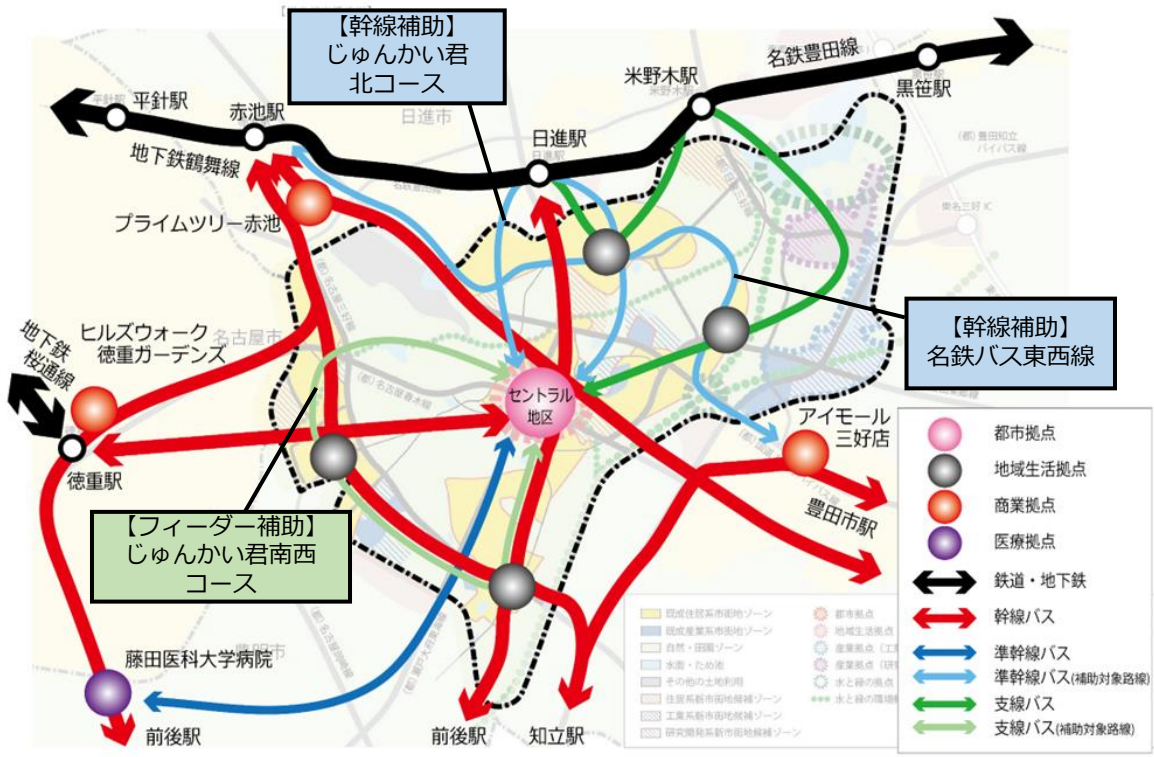
面積：18.03km²




特性：鉄道駅がないため、バス路線を中心に公共交通ネットワークを形成。
セントラル地区にバスターミナルを整備

交通
将来像

「公共交通が暮らしとともにある 安心して住み続けられるまち」

- 基本方針1
町内各地域及び尾三地区等の
広域的な連携・交流を強化
- 基本方針2
多様な公共交通手段により、
地域に適した移動サービスを確
保・導入
- 基本方針3
東郷町の公共交通に関わる全
ての関係者が交通と福祉の視点
で連携・協働し、公共交通を支
え育む取組を展開



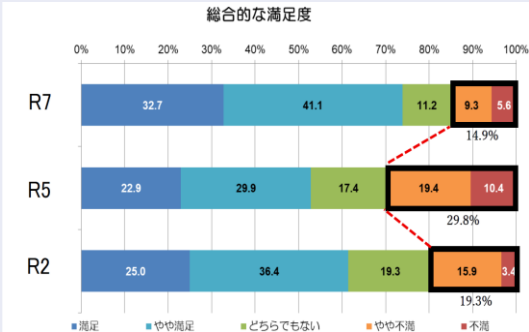
取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>【基本方針1、2】</p> <p>★じゅんかい君の運行</p> <ul style="list-style-type: none">・北コース（幹線補助受給系統）・南西コース（フィーダー補助受給系統）・東コース	<ul style="list-style-type: none">・コミバスの運行を継続・R6年度に老朽化した車両を更新した（幹線1台、フィーダー1台）	<ul style="list-style-type: none">・前年に比べて利用者が約1割増加（R5：196,524人⇒R6：216,032人）・初の20万人超えを達成・R6年度高額修理 721,893円 （R3～R5平均 5,732,677円） 	<ul style="list-style-type: none">・路線再編の成果が表れ、利用者が増加。・各種啓発活動により周知が進み、生活に路線が定着してきている。・老朽車両の更新により高額修理費が減少
<p>【基本方針1、3】</p> <p>キャッシュレス決済導入</p>	<ul style="list-style-type: none">・コミバスの利便性向上のためキャッシュレス決済を導入（R7.4～）・導入コスト及び普及率を考慮し、コード決済を選択	<ul style="list-style-type: none">・キャッシュレス比率12%（R7.10現在） 	<ul style="list-style-type: none">・バス停に二次元コードを貼付し、利用者が予め読み込む方式としたことで、乗車時の支払いのモタつき防止。・現金の取り扱いが減少し、運行事業者からも好評であった。
<p>【基本方針2、3】</p> <p>サイクル&バスライド</p>	<ul style="list-style-type: none">・バスターミナル付近の商業施設駐輪場を活用したサイクル&ライドの実施に向け、商業施設と継続的に協議を実施	<ul style="list-style-type: none">・商業施設との連携により、R7.4から実施 	<ul style="list-style-type: none">・施設管理上の問題も生じておらず、現在まで円滑に運用されている。・引き続き関係機関と利便性の向上に資する取組の協議を継続していく。

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察																					
【基本方針2、3】 地域の輸送資源活用 事業	<ul style="list-style-type: none">自動車学校スクールバス の空席を活用した地域住 民の混乗化コミバス路線再編後、不 満割合の増加（10.5ポイ ント悪化）を受け実施対象者：65歳以上の町民 （一人で乗降可能な者）運行日：自動車学校営業 日（スクールバス運行日）ルート：ららぽーと・三 ツ池線便数：4便/日 <p>【じゅんかい君総合満足度】</p> <table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>(R5)総合的な満足度 n=144</td><td>22.9%</td><td>29.9%</td><td>17.4%</td><td>19.4%</td><td>10.4%</td><td></td></tr><tr><td>(R2)総合的な満足度 n=88</td><td>25.0%</td><td>36.4%</td><td>19.3%</td><td>15.9%</td><td>3.4%</td><td></td></tr></table> <p>■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満</p>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	(R5)総合的な満足度 n=144	22.9%	29.9%	17.4%	19.4%	10.4%		(R2)総合的な満足度 n=88	25.0%	36.4%	19.3%	15.9%	3.4%		<ul style="list-style-type: none">協定期間：R7.6～R8.3運行期間：R7.6～R8.3（実証）登録者数：36人（R7.11末）利用件数：31件（R7.11末） <p>【協力事業者協定締結式】</p>  <p>【ルート】</p> 	<ul style="list-style-type: none">減便した地域を走行するスクールバ スを活用することで、コミバス便数 を仮想的に倍増（コミバス4便+ス クールバス4便）利用件数が少なく、周知が進んでい ないと思われる。本町の特性として「コミ」による 効果が大きいため、住民懇談会や地 区回覧等周知を加速させる必要があ る。 <p>【コミバス補完イメージ】</p>  <p>【地区回覧版】</p> 
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																		
(R5)総合的な満足度 n=144	22.9%	29.9%	17.4%	19.4%	10.4%																			
(R2)総合的な満足度 n=88	25.0%	36.4%	19.3%	15.9%	3.4%																			
【基本方針3】 はたらく乗りもの フェスタ	<ul style="list-style-type: none">町内商業施設で消防車や レッカー車等を展示する イベントに地元交通事業 者とともに参加ジャンボタクシー展示、 写真撮影、啓発品配布を 実施	<p>R6:10/26（土）27（日）開催 参加者：4,467人 R7:11/8（土）9（日）開催 参加者：●●人</p>  	<ul style="list-style-type: none">町主催のイベントでは展示されない 車両も多くあり、多くの集客があった。バス以外の車両を展示したことで、 タクシーの啓発にもつながったと考 える。  																					

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
【基本方針3】 小学生向け乗り方教室の開催（名鉄バス）	<ul style="list-style-type: none">放課後子ども教室でバス乗り方教室を実施座学その他、車両とバス停を学校へ搬入し、I Cを用いた乗車体験を実施	R5:30人（諸輪小学校） R6:26人（音貝小学校） R7:予定（高嶺小学校） 	<ul style="list-style-type: none">打合せの中で「バスの死角について学ばせたい」といった放課後子ども教室側からの意見もあり実施、利用促進のみならず「安全教育」の場としても有意義であった。
【基本方針1、3】 バスフェスティバル（尾三連携）	<ul style="list-style-type: none">尾三地区自治体による広域利用促進イベントとして、みよし市内の大型商業施設と連携し開催各自治体のコミバス車両展示ワークショップ開催抽選会	R7.2.9（日） 参加者約2,000人 （みよし27.5%、豊明5.9%、長久手9.8%、東郷9.2%） 【各自治体のコミバス】 	<ul style="list-style-type: none">各自治体のコミバス運行事業者の他、名古屋鉄道(株)、愛知高速交通(株)等幅広く参加していただき、広域の交通を支える事業者とともに地域交通の利用促進を呼びかけることができた。本町住民以外の近隣住民にも各自治体のコミバスのPRができ、バスへの関心が高まった。（アンケート結果：高まった、やや高まったとの回答94.7%）
【基本方針3】 CentXおでかけ促進施策	CentX「エリアdeふらっとウォーク」にコース設定し、公共交通利用促進を実施	<ul style="list-style-type: none">R6.3.21～6.30まで実施（日進駅⇄ららぽーと愛知東郷をコースに設定）ゴール地点での特典配布者約10名	<ul style="list-style-type: none">コミバスの利用やマースアプリの周知に寄与 

計画目標・評価指標		達成状況	考察
東郷セントラル地区を中心とした利便性の高い公共交通ネットワークの形成【基本方針1】	公共交通全体の利用者数	努力目標：未達成 必達目標： 達成 ●努力目標 214万人/年（実績値） 2,093,461/年 ●必達目標 じゅんかい君の年間利用者数15万人（実績値） 216,032人	・努力目標は未達成だが、 着実に利用者が増加 。 ・自治会協力のもと、町内全地区へのチラシ回覧を実施する等、 各種公共交通の周知、啓発活動の成果が表れている 。 ・必達目標については、 路線再編の成果が表れ、目標を大きく上回り達成 。 初の20万人越え を達成し、キャンペーンを実施。
東郷セントラル地区のバスターミナルを活用し、公共交通相互の連携を強化【基本方針1】	都市拠点内※の利用者数 ※和合西口、和合、いこまい館、ららぽーと愛知東郷バス停	未達成 現況値(R2)：1,015人/日 目標値：1,200人/日 実績値：1,163人/日	・R3年度に バスターミナルを発着とした路線に再編したことで、増加 している。 ・R5年度に東郷藤田医大バスのダイヤをじゅんかい君との 乗り継ぎを考慮したダイヤに修正 したことや隣接する商業施設の利用者の影響もあり、 「ららぽーと愛知東郷バス停」の利用者数が前年度比で約10%増加 した。

計画目標・評価指標		達成状況	考察
既存の公共交通に新たなモビリティを加えた多様な公共交通手段を提供 【基本方針2】	じゅんかい君の満足度（不満割合）	目標値：19.3%未満（R2年度未満） 現況値： 達成 (R7：14.9%) 参考値：(R5：29.8%)	<ul style="list-style-type: none">・R3年に路線再編をしたが、<u>便数が減少した地区からの不満が続出</u>・このため「地域の輸送資源の活用」等3つのアクションプログラムを新たに定め、スクールバスの混乗化をR7.6から実施している。・路線再編から4年経過したことで、<u>周知が進んだこと及び生活に路線が定着してきたと思われ、最新の調査では不満割合が減少</u>した。また、<u>公共交通機関全体の満足度も向上</u>した。
	公共交通機関の整備に対する満足度	目標値：25.5%(R12) 現況値： 達成 (R6：39.7%) 参考値：(H30：13.4%)	
・交通と福祉の視点ですべての関係者が連携・協働した取組を展開 ・公共交通を安心して利用できる対策の実施と情報を提供 【基本方針3】	市内他部署や複数の実施主体が連携・協働した取組の件数	達成 目標値：12件/年 実績値：14件/年 (尾三地区自治体連携によるイベント、商業事業者と連携した施策、包括支援センターとの協議等)	<ul style="list-style-type: none">・<u>近隣自治体と関係性が強い地域</u>であり、公共交通においても<u>広域の観点から共同でイベント</u>を実施している。・協議会に近隣自治体も構成員として参加し、議論が共有されている。・<u>商業事業者と意見交換を継続して実施</u>。日ごろの<u>関係性構築により交通施策にもご協力</u>いただいた。・市内他部署との情報交換により、デマンドタクシー事業に<u>包括支援センターの協力</u>を得たり、<u>就職フェアに交通事業者が参加</u>することができた。



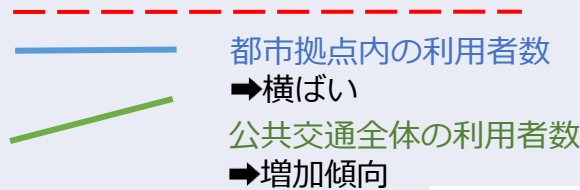
計画目標・評価指標		達成状況	考察
地域公共交通確保維持改善事業 (★地域間幹線系統確保維持費国庫補助)	じゅんかい君北コース利用者数	目標値：131,055人 現況値：144,664人 達成	・巡回バス路線再編（R3.4）以降、本路線の利用者数は毎年増加しており、路線が地域に定着してきたことによるものと推察される。
	輸送量	計画：40.1 実績：53.5 達成 (平均乗客密度：2.4) (運行回数：22.3)	
	収支率	計画：19.82% 実績：20.66% 達成	
地域公共交通確保維持改善事業 (★地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助)	じゅんかい君南西コース利用者数	目標値：30,423人 実績値：35,405人 達成	・巡回バス路線再編（R3.4）以降、本路線の利用者数は毎年10%程度の伸びを示しており、路線が地域に定着してきたことによるものと推察される。
地域公共交通確保維持改善事業 (★公有民営方式車両購入費国庫補助)	高額修理費（30万円以上/件）	目標：9,637千円（R3実績）から半減以下 実績：722千円 達成	・車両代替によるリース費用及び高額修理費の削減効果が、3,962千円（前年度比）となった。 ・商業事業者と連携した公共交通利用促進イベントにおける車両展示に活用したこと及びH24から採用する愛着あるデザインの車体ラッピングにより、公共交通への愛着を醸成した。

4.【Act】計画目標の達成に向けた今後の取組方針 の作成

計画目標の現在の到達点

公共交通全体の利用者数は必達目標を達成。
努力目標及び都市拠点内の利用者数は未達成ではあるものの、着実に増加傾向にある。

目標値



R7住民懇談会の様子



今後の取組方針

- ・ コミバス利用者数が初の20万人越えを達成し、順調に利用者数が増えていることから、引き続き利用促進事業を実施する。
- ・ 既に導入済みのコード決済以外のキャッシュレス方式についても導入を検討し、利便性向上を目指す。
- ・ 町内ネットワークの最適化のため、**コミバス路線の見直しをR9.10に実施予定**
- ・ R7年度実施の住民アンケート等各種調査結果を分析し路線見直し(案)を作成
- ・ R7年度に引き続きR8年度も町内全地区で住民懇談会を開催する。**自治体のトップ自らが直接住民の生の声を伺う**ことで、各種調査のデータでは推し量れない住民感情やニュアンスを把握するとともに、**住民の公共交通に係る意識の醸成を図ることで公共交通の共創につなげたい。**

庁内他部署や複数の実施主体が連携・協働した取組の件数については達成している。

- ・ 今後も引き続き尾三地区広域公共交通会議を活用し、路線やイベントについて利用促進策を実施
- ・ 公共交通利用の多い高齢者と密に接する地域包括支援センターと連携し、バスやデマンドタクシー利用について広く周知する。
➡引き続き、町内他部署や複数の実施主体が連携・協働し、目標値を達成できるよう取り組む。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
前回	<p>・輸送量や収支率が低く、維持が危ぶまれる地域間幹線系統については、状況を注視し、運行事業者や沿線自治体等と連携した取組の実施等、利用促進・系統維持等に資する取組が実施されることを期待します。</p> <p>【幹線系統確保維持費国庫補助金】</p>	<p>・商業事業者、運行事業者及び尾三地区自治体と連携し、尾三地区広域公共交通推進会議による広域を含めた公共交通利用促進イベントを実施しました。</p> <p>・新たな取組として、令和7年4月から巡回バスへのキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性向上を図りました。</p>	<p>・引き続き、地域の輸送資源を活用した事業の実証運行を実施し、利用者の利便性向上を図る。</p> <p>・次回の路線見直しに向けて各種アンケート調査、住民懇談会を実施し、各地区でのニーズを把握し、町全体で最適な路線、ダイヤの検討を実施する。</p>
	<p>・引き続き、利用者や各種主体と連携した、行動変容や認知度向上、利用促進に繋がる取組が継続されることを期待します。</p> <p>・地域間幹線系統である星ヶ丘・豊田線の輸送量が補助基準値の下限に近い状況であるため、上記を含む利用促進のほか、公共交通ネットワークとしての広域的な取組を期待します。</p> <p>【フィーダー系統確保維持費国庫補助金】</p>	<p>・新たな取組として、①令和7年4月から「巡回バスへのキャッシュレス決済の導入」、②令和7年6月から「スクールバスの空席を活用した地域の輸送資源活用事業」の実証運行を開始しました。</p> <p>・星ヶ丘・豊田線の案内チラシを町内全地区へ回覧し、路線の周知及び利用促進を図りました。商業事業者と連携し、尾三地区広域公共交通推進会議による広域を含めた公共交通利用促進イベントを実施しました。</p>	<p>・町ホームページ、広報、地区回覧等による定期的な案内により、公共交通全体の周知及び利用促進を図る。</p> <p>・引き続き、商業事業者、近隣自治体、運行事業者が連携し、交通ネットワーク全体の利用促進イベントを実施する。</p>

※前回：令和7年3月27日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
前々回	<ul style="list-style-type: none">・地域間幹線系統である星ヶ丘・豊田線について、輸送量が基準値の下限に近い状況であるため、沿線市と連携した利用促進の取組が今後も継続的に実施されるように努めると共に、じゅんかい君との乗り継ぎ等、公共交通ネットワークとしての広域的な取組を期待します。 【フィーダー系統確保維持費国庫補助金】	<ul style="list-style-type: none">・愛知県の広域的・幹線的なバス路線の維持に向けた利用促進モデル事業に参加した他、商業事業者と連携し、尾三地区広域公共交通推進会議による広域を含めた公共交通利用促進イベントを実施しました。また、MaaSアプリと連携したお出かけ促進を実施しました。	<ul style="list-style-type: none">・商業事業者、近隣自治体、運行事業者が連携し、交通ネットワーク全体の利用促進イベントを実施する。
	<ul style="list-style-type: none">・公共交通計画の中間見直しによって見出された地域住民のニーズや課題を踏まえ、地域間幹線系統、じゅんかい君、デマンドタクシー等の地域交通が連携し、利便性が高く、効率的な公共交通ネットワークが構築できるよう、課題意識をもって計画改定がなされることを期待します。 【調査事業（計画策定）】	<ul style="list-style-type: none">・顕在化した課題の解決のため、新たに地域の輸送資源の活用を始めとした、3つのアクションプログラムを定め、令和6年3月に計画を改訂しました。	<ul style="list-style-type: none">・地域の輸送資源を活用した事業について、関係者との協議・合意形成を図り、事業実施を目指す。・引き続きG T F Sデータを整備すること及び新たにキャッシュレス決済の導入を進めることで利用者の利便性向上を図る。・地区回覧等により民間バス路線の利用促進を図る。

※前々回：令和6年3月21日

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
東郷町 地域公共 交通会議	① ↑ [A]		② ↑ [A]	③ ↑ [A]
実施すること	・前年度実施事業と計画の評価(確定) [C]	・次年度実施事業の検討 [P]	・今年度事業中間評価 [C]	・事業報告とりまとめ ・計画の評価 ・次年度の予定 [C]
	<その年の予定事業の実施>[D]			
ポイント	・確保維持改善計画		・次年度予算要求	・事業評価 (第三者評価委員会)

【地域公共交通会議の実施状況】

(令和6年度)

- 第1回地域公共交通会議 6月12日
主な議題：地域公共交通計画認定申請、地域公共交通計画の評価結果
- 第2回地域公共交通会議 12月27日
主な議題：令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価、令和7年度東郷町地域公共交通計画に関する事業計画、令和7年度東郷町地域公共交通会議予算、地域の輸送資源活用事業（実証運行）、キャッシュレス決済導入、次期公共交通計画策定スケジュール

(令和7年度)

- 第1回地域公共交通会議 6月19日
主な議題：地域公共交通計画認定申請、地域公共交通計画の評価結果、次期公共交通計画策定等に係るニーズ調査
- 第2回地域公共交通会議 10月29日
主な議題：各種ニーズ調査結果（速報）、令和7年度上期における公共交通の利用状況
- 第3回地域公共交通会議 12月22日
主な議題：令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価、各種ニーズ調査結果、現行計画評価
- 第4回地域公共交通会議 2月（予定）
主な議題：課題整理、路線見直し方針